

飯田市教育委員会 平成30年6月定例会会議録

- 1 会議開会の日時 平成30年6月15日(金) 午後2時15分
- 2 会議の場所 飯田市役所 A301・302 会議室
- 3 出席者の氏名 教育長：代田昭久 教育長職務代理者：小林正佳
委員：伊藤昇 委員：小澤由美子
委員：三浦弥生
【事務局】
教育次長：三浦伸一 社会教育担当参事：櫻井毅
学校教育課副参事：北原康彦 学校教育専門幹：高坂徹
生涯学習・スポーツ課長：北澤俊規 文化財担当課長：馬場保之
飯田市公民館副館長：秦野高彦 飯田文化会館長：宮沢正隆
飯田市美術博物館副館長：池戸通徳 飯田市歴史研究所副所長：小椋貴彦
(図書館担当専門幹：櫻井毅) 学校教育課課長補佐：滝沢拓洋

4 会議の顛末

△日程第1 開会

代田教育長が定例会の開会を宣言した。(午後2時14分)

△日程第2 会期の決定

本定例会の会期を本日1日に決定した。

△日程第3 会議録署名委員の指名

会議録署名委員に小林正佳教育長職務代理者を指名した。

△日程第4 会議録の承認

5月定例会の会議録を承認した。

△日程第5 教育長報告事項

○代田昭久教育長

それでは私のほうからレジュメを用意させていただきましたので、それに従って今日は3点お話をさせていただきますと思います。

まず、いま第2回議会定例会開催中ではありますが、今週の火曜日、水曜日に一般質問が行われましたので、その報告をさせていただきますというふうに思います。教育委員会関係はですね、6人の議員の方から質問がありましたので、この場では主な質問等、答弁の骨子をお話させていただ

きたいと思います。

まず、岡田議員より上村小学校小規模特認校制度において、今までどういう実態にあるのか、また今後の取り組みの方向性についての質問がありました。まず現状の報告としては、三ヶ月が経とうとしているところではありますけれども、上村小学校に市内から2名の児童がスクールバスを活用し、元気に通学をしていると。上村小学校にとっても1名増えたことで全学年の児童数が確保でき、教員が増えることで教育の多様性や教育環境の確保につながったと考えているという認識であります。また、この特認校に至るまでにそのプロセスとして、かみむらっこ応援団運営委員会、コミュニティスクールの学校運営協議会に当たるものですが、これを中心にしてですね、地域が学校と力を合わせて学校を支えていくという活動が展開されていたことに関しては大きな意味があるのではないかと考えています。その中で課題は何かというご質問があったわけですが、一つ課題としてとらえているのが、小規模特認校として上村に通う子どもたちの地元、居住している地域との関係性をいかに保っていくのかとということも課題になるかなと。ということで現在もPTAや学校と相談するなかで地域との関係性を薄れないように途切れないように取り組んでいきたいという回答をしています。

続きまして、熊谷泰人議員のほうからは、猛暑における小学校の状況と対応についてという質問をいただきました。熱中症になった児童・生徒、現状としては熱中症が原因で搬送されたとか病気になったという児童・生徒はいないのではありませんけれども、授業の中では集中力が保てていないのではないかなというようなことは垣間見られるという報告は受けております。ただそれが暑さかどうかということではわからないので、なるべく学校現場の対応としては屋外の活動を午前中にしたり、また活動時間を暑い日は時間を短縮したりとか、またこまめな休息を入れるなどの配慮をしているという現状についてお伝えしています。飯田市のいまの扇風機、エアコンの状況ですけれども、扇風機は常時使用する教室で概ね一クラス2台、エアコンは小中学校の保健室に配置とコンピュータールームというかたちで設置をしています。改めて長野県全体ではということではあるんですけれども、小学校普通教室全体では3%、小学校施設全体では8%、同中学校では普通教室が8%、施設全体では13%ということでもまだまだ全体的には普及していない状況ではありますけれども、昨今のニュース等では設置を進める主体もあるので、その件に関してはなるべく情報収集しながら進めていきたいと考えています。今後については委員の皆さんにはご説明をさせていただいておりますが、飯田市の学校施設というのは築40年を超えている学校が数多くあります。その中でいま集中的に行っているのが、給排水の設備の改修ではあるわけですが、この給排水の改修だけではなくて、学校施設の長寿命化を策定する中で、雨漏りや、外壁、給排水、電気等の工事を含めてその中で検討していきたいと考えております。

3番目、飯田市美術博物館の活用についてというテーマで塚平議員より質問をいただいております。昨年度より教育振興基本計画に合わせて飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プランも同時に策定したわけではあります、1年目としては非常に順調に滑り出したというふうに考えておるところであります。その中でも一つ質問の中にあるのが、春草展の常設展、これについてはどういう状況なのかという質問がございました。これについては9月の30日、昨年の後半期に開始をしたわけですが、約半年間で1万人の入場がございました。これは昨年の春草の1年間の春草展に対する入場者が約1万3千人ということを考えると半年で1万人というのは非常に好調な滑り出し

ではないかというふうに私のほうではとらえております。さらに今年度は世界人形劇フェスティバル、また人形劇によるまちづくりの AVIAMA 総会に海外から大変多くの方々が来られることが予想されるので、そういった方々にも春草の素晴らし作品をご覧いただきたい。「小さな世界都市」を見据えて、飯田市を訪れる「目的」に「菱田春草」が挙げられるようなそんな情報発信をしていきたいと考えています。

4 番目、市民の皆さんの注目度の高いところではありますけれども、新文化会館、コンベンション施設等について今後どのように進めていくのかという質問をいただいております。これは毎回質問にあるわけですが、基本的には同じ形での答弁という形にはなりませんけれども、まずは飯田市としてこの3つのホールについてどのような機能が必要か、それに対応する規模やホールの客席数、また、会議室等の部屋数、広さについては課題を整理しながら検討を進めていくと。それに合わせて今後の人口の見込みなども含めて先進事例を研究していきたいということが従来からの答弁ではありますけれども、広域連合がコンベンション施設などとの連携もあるので、広域連合での検討の進捗によっては飯田市の文化ホールの検討にも大きく影響するという事は認識しています。そこで、南信州広域連合が設置する検討委員会でのこの検討状況を把握しながらその情報を共有して、飯田市の検討も進めていきたいという回答をしております。

5 目としては木下容子議員から貧困の質問が、貧困を断ち切る、これで学校教育としてどんな支援ができるのかということ質問をいただいております。まず教育委員会としては貧困の子どもというふうに限定をせずにですね、すべての子どもたちが授業をしっかりと理解し、家庭での学習習慣が身につく、そういった教育活動をすることが大事であるというふうに考えています。その前提を断ったうえで、それでもなお貧困等により困難を抱えている、課題を抱えている児童生徒に対しては、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、民生児童委員会などとの専門機関との連携との連携を図りながら、学習環境の改善を務めているというこんな回答をさせていただいております。

最後に古川議員から飯田コミュニティスクールと児童生徒の取り巻く環境に関してということですが、クラス編成の質問、最後の字はトイレの状況についての質問をいただきました。コミュニティスクールと生徒の人数、クラス編成についてはお読みになっていただければと思いますが、トイレの状況についてもですね、これも毎回質問いただいているところなんです、今年度はですね、まあ洋式化ということをお願いという要望が非常に上がっている、全学校の教室棟各階の男女トイレブースに少なくとも各一箇所ずつの洋式タイプの便器が設置できるように、まあこれは簡易型ではありますけれども、設置を行う予定でおるという説明をしております。やはり議員のほうからもありましたけれども、洋式トイレに行けないから学校がなくなるという子どもの声もありますので、これに関してはしっかりやっていきたいというふうに思います。ただなかなかじゃあ一斉にできるかというところでもない、最後にこれは市長が回答している文章になりますけれども、トイレの洋式化は現在の生活様式から重要な課題だと認識しており、計画的な予算化に努めていきたいというふうに考えております。以上が本議会での教育委員会に関する質問に対する答弁の骨子の説明です。

続きまして、飯田市生徒指導研修会の講演会について少し私の方から報告をさせていただきたいというふうに思っています。毎年6月の時期に各学校の生徒指導担当の先生方を集めて、研修会を

行っているわけでありませうけれども、これは中心となって企画していただいているのは支援指導主事の先生方ですけれども、今年度は中邑賢龍先生を招いての講演会をしようということで進めてまいりました。中邑先生は実は3月末にですね、旭ヶ丘中学校の特別支援の点において、指導の在り方について一回来ていただいて、その中でも先生方のほうからじっくりと先生のお話を聞きたいということが、声が上がったのでその声を受け継ぐ形で、企画をさせて実施をいたしました。報告書の後ろの方に先生方が書いた感想をまとめておりますので、こちらのほうをお読みいただければというふうに思います。もう一枚、指導主事の田中先生の書かれた報告書のほうも参考になさっていただければなというふうに思います。中邑先生はROCKETという東大先端研のプロジェクトの中で、全国から不登校を集めて教育をするというユニークな教育をやっているわけですけれども、ここの感想の中にたくさんあるのは今までの考え方とやっぱり少し幅が広がったとか、考え方が違う視点をいただけたという感想が非常に多いわけですけれども、子どもへの視点として課題や苦手なところを見るんじゃなくて、その人の子どもの本当にいいところを見ていっていいところを伸ばすことがとても大事だということが先生の教育的な大きな視点になっていますし、その中でテクノロジー人間支援工学に基づいたそういったもので助けられることもあるんだよということで、いま海外では識字障がいの中で電卓を取り入れている国やワープロを使ってもいいという国も出ている状況についても話があったという状況です。またこれについてはぜひお読みいただければなというふうに思います。

三点目、こちらの方は先月の定例会のほうでも、内容についてまた発表者について一部ご報告させていただいたわけではありますが、この前の研修会の車の中でも発表者に関しては三浦委員のほうでということを検討進めているわけではありますが、内容的には少し突っ込んで、今回私のほうで少し案を考えてみました。タイトルとしては、地域力を生かした飯田市の教育～これからの学校教育と社会教育の連携・融合を考える～というテーマの中で、新しい学習指導要領で、開かれた教育課程、前回の学習会でもありましたがこういった流れの中で、ポイントとしては目標を地域と社会と学校が共有していくんだと、で子どもたちの育成すべき資質・能力を明確化していく。そして地域の人的・物的資源を活用し、社会と共有・連携しながら教育活動を展開していくのだと。これは社会に開かれた教育課程で言われている3つの大きなポイントですけれども、これに関して飯田市は早くからしっかりと取り組んでいる地域ではないかということアピールしながら、こういった活動をさらにこの新しい学習指導要領、また新しい時代の流れの中で、飯田市の特色がある教育として推進をしていきたいという大きな方向性があるのではないかなと考えています。その中で、二番目としては具体的には前回2年前に宇宙教育を取り組みますという話もしたので、今後2年間でその2年間でどんな活動になっているかということの経過を少し報告しながら3つの取組み、2つ目としては小規模特認校、これは地域の課題を共有しながら、人口が減少して小学校が小さくなってしまふ、こんな中の地域の課題を共有しながらコミュニティスクール発足を、学校の在り方を地域全体で検討し、協力しながらPRをして学校を作り上げていくというような活動の報告と、また三遠南信の場ですので、教育実習もしているということもぜひPRしていきたいと考えています。また、今年度最大の取組みの一つである、人形劇のまちづくりについても人形浄瑠璃の伝統の中で40周年を迎える人形劇のまち、そして特徴的なのはみるだけではなく、また演じる人だけではなく、支える、まあこういう3つの飯田らしい取組みが続いていること、その中に学校での教育活動もし

っかりと組み込まれながら行われていること、そして今年は先ほど発表がありましたので訂正をさせていただくと、18 か国 29 の海外劇団が来てそれぞれの中学校でも世界と結びついた学びの機会になるということを報告しながらこちらの方も一人でも多くの皆さんに来ていただきたいということをPRしていけたらどうかなというふうに思います。

私の方からは以上3点とさせていただきます。ご意見ご質問等あればお願いします。

三浦教育委員お願いします。

◇三浦弥生教育委員

この三遠南信教育サミットの件に関しては、ここは話題にする場所ですか。そうではないですね。

◇小林正佳教育長職務代理者

私もちょっと違和感を感じています。ここで議論するものではないという。

◇三浦弥生教育委員

じゃあここでは。

◇小林正佳教育長職務代理者

とは思いますが、ここで議論を求めているのですか、教育長さん。

○代田昭久教育長

実は今日議題の中で、三遠南信のテーマがないので、議論は求めていないのですがこの場で言うておかないといけないかなと思っていったので、議論はまた決定事項ではないので別の機会がいいのかなと、言いやすいところでいいかなと思います。

◇三浦弥生教育委員

はい。ここはお聞きしたということでわかりました。

◇小林正佳教育長職務代理者

ほかのことで。

○代田昭久教育長

小林教育長職務代理者お願いします。

◇小林正佳教育長職務代理者

【2】の飯田市生徒指導研修会の中邑賢龍先生の特別講演会で、この先生の肩書がですね、東京大学先端科学技術研究センター特任教授っていう名前なんですけどね、そしてテーマがですね、田中教育指導主事のところにあるとおり、テーマが「AI やロボット時代の子どもの学びとは」ということなんですよね。そしてプロジェクトが「異才発掘プロジェクト ROCKET」というところなんですよ

ね。そういう内容だから、イメージからするとこれからの AI やロボット時代の子どもたちに、いわゆる不登校の子どもたちの中で、異才を放っている子たちを取り出す教育をして、才能を開花させようという ICT 教育のようなどころの話かなと思いつつ、それを生徒指導の研修会でやるということはどういうことかなと思いつつ参加させてもらったのです。ところが、参加者の感想ところを見ていただいてわかるように、AI やロボット時代にどう生きるかなんてことは書いてないのですよ、みんな。不登校の子どもたちとか発達障がいを持っている子どもたちをどういうふうに学校は受け入れていったらいいか、親はどういうふうにその子たちと接していったらいいかという話で、今日的でいい話なんです。このことがわかっていたら教育委員の皆さんにも聞いてもらう必要があったと思います。それはどうしてかという前回定例会の議論の中で伊藤委員さんが提案してくれて、その不登校の子たちをどう見ていくか、どう対応していったらよいかということはかなり熱く話し合ったじゃないですか。あれとうんと関係しているんですよね。ところが演題等からすると、ロケットの話や ICT の話をするのかとばかり思っていました。ですが非常に大事な話をしてくださいました。教育委員会に対する宿題もいっぱいいただいて、教育長さんがどんなコメントをされるのかなと思いつつ楽しみなんです。

何点か上げますとね、例えばですね、各学校の子どもたちに年間 10 枚のお休み券を出せ、もう自由に休んでもいい券を出せというんですよね。それから、今度の入試に英語は本当に必要か、要らないのではないかと、英語というものがあることによって、英語が苦手な子たちも 10 人に 1 人はしんどい子がいる。そこを考えないでやっていいのか、そういう英語の入試なんかやっていいのかということ言うのですね。それから、不登校の子たちには非常に自由なんだと、自分のやりたいことで自分のやれる生き方ができているんだ。だからここを活かしていこうという言い方をするんですよね。

感想の中に、慌てて書いた私のコメントも載っているんですよ。どれが私のコメントかという一番最後、「今までの話は非常に極端な話に聞こえるんだけど、子ども観とか教育観は私と全く同感でした。これからも大事にしていきたいと思いました。」「これからも」とあえて書いたのですが、やはり不登校の子どもたちは私の経験では、1 割から 2 割の子たちは今の学校体制の中では難しい子どもたちである。それで学校が、「いい教育」をすればするほど、いわゆる管理的な教育になって行き詰っちゃう子たちが出てきちゃうんですよね。それで、そういう子たちの中に非常に大事な力を持っている子たちがいるし、その子たちに対しても心を寄せていくような学校でないと難しい。しかし学校現場では、きちっとした教育をどうしてもやりたがる。そういう状況の中で中邑先生は、非常に大事な教育観、子ども観を教えてくださいました。だから生徒指導の研修会でやるんだと分かりました。そこで、こういう考え方、見方を学校の中にどう広げていくのかなということが大事だなと思いました。

非常に極端な話でこれをやればいいのかということだけではないのですが、極端な話だけでもそのくらい大胆な発想をして、子どもたちの学校に対する制約を取ってあげるようなことをしないと不登校の子どもたち、また特に発達障がいといわれている子どもたちは行き詰っちゃうだろうと思います。ですから参加者の感想がですね、子ども観とか子育て観とかそういうことについて、ほとんどの人が書いているかと思いつつ。これからのロボットの時代にどう生きるかという話に最終的にはつながるんでしょうけどね。もっと体験を大事にし。子どもに自己決定ということを大事にし

ていこうという非常に根本的な話でした。

◇三浦弥生教育委員

これは研修内容の何かに残っているということはないのでしょうか。

◎三浦伸一教育次長

残っていません。

◇三浦弥生教育委員

すみません。

◇小林正佳教育長職務代理者

レジュメくらいはいただいているので、ちょっとまたこれは配ります。

○代田昭久教育長

はい、一点私も補足させていただくと、この ROCKET プログラムって裏のテーマは伊藤教育委員がこの前言ったですね、保護者の皆さんのネットワーク化をするのです。要は生徒の指導をしながらこっちはですね、お母さん指導を色々聞くわけです。どのような悩みですかという「レポートかけといううちの息子は書けないと思います、お母さん、そこはチャンスですよ」みたいなそういったやり取りをしていると半日あっただけで皆さんもうメールアドレス交換して、みんなで行くという。子どもたちの支援と共にやっぱり一番身近にある保護者のネットワークを作って、お母さんたちの居場所を作っていくという、裏のプランニングを走らせていくというのも素晴らしい取り組みだなと思っています。いずれにしろ中邑先生においては色々今後とも協力をしていただけるというスタンスでおりますので、また機会があればなと思います。ありがとうございました。

他にはないのでしょうか。よろしいでしょうか。

△日程第6 議案審議

○代田昭久教育長

それでは、日程第6 議案審議に移りたいと思います。本日の議案審議は8件になります。

まず、議案第23号 飯田市小中連携・一貫教育推進委員会委員の委嘱についてお願いします。

北原学校教育課副参事をお願いします。

◎北原康彦学校教育課副参事

はい、議案第23号でございます。飯田市小中連携・一貫教育推進委員の委嘱についてでございます。飯田市小中連携・一貫教育推進委員会の要綱に基づきまして、下記の者を飯田市小中連携・一貫教育推進委員に委嘱したいというものでございます。委員の構成、委嘱をしたい皆さんにつきましてはごらんのとおりでございます。提案理由につきましては、小中連携・一貫教育推進委員会設置にあたり、要綱により委員を委嘱したいというものでございますが、任期につきましては要綱の

第4条で規定は1年となっています。ただ今回の中では再任をされて再度お願いをする方もございます。ちなみに申し上げますが、学識経験お二人の名前も出まして、桐生徹先生が新しく今回からお願いしたいという方でございます。地域代表者のお二人は変わってございません。学校教職員ということで、中学校区、各9中学校区からそれぞれ出ております、これは全員変わっております。保護者の代表の方も変わらず、学校運営協議会の関係ではお一人、菅沼さんが新しく変わられていらっしゃる方でございます。公民館関係の二人は再任ということで変わっておりません。以上提案ですよろしくお願いたします。

○代田昭久教育長

はい、議案第23号についての説明がありました、何かご質問ご意見等ありますでしょうか。

はい、それでは承認ということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

続きまして議案第24号飯田市就学相談委員会委員の委嘱についてお願いします。

北原学校教育課副参事お願いします。

◎北原康彦学校教育課副参事

議案第24号でございます。飯田市就学相談委員会委員の委嘱についてでございます。飯田市就学相談委員会条例によりまして、下記の者を飯田市就学相談委員会委員に委嘱をしたいというものでございます。お名前、所属、職名等はごらんいただくとおりでございます。提案理由が二つございます。四人いらっしゃいますが、最初の三人の方の理由がまず一番にございまして、29年度末の人事異動により欠員が生じたので、就学相談委員会条例の規定によりまして、新しく委嘱をしたいという皆さんでございます。任期につきましては前任者の残任期間ということで、平成31年3月31日までというものでございます。もう一つ二番でございますが、一番下の北原さんでございますが、こども家庭応援センターの就学相談支援員が30年7月1日付けで1名増員されることになりました。これによりまして就学相談委員会の条例の規定により、新たに飯田市就学相談委員会に委嘱したいということでございます。任期につきましては同じく就任される平成30年7月1日から平成31年3月31日までとしたいというものでございます。説明は以上です。よろしくお願いたします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。議案第24号について、何かご意見ご質問等ありますでしょうか。

それでは飯田市就学相談委員会委員の委嘱についてはご承認をいただいたということでお願いたします。

続きまして議案第25号飯田市人権教育推進協議会委員の委嘱についてお願いします。

北澤生涯学習・スポーツ課長お願いします。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

それでは議案第25号飯田市人権教育推進協議会委員の委嘱についてということで飯田市人権教育推進協議会規則第4条第1項の規定により下記の者を飯田市人権教育推進協議会委員に委嘱しますということで、この飯田市人権教育推進協議会につきましては飯田市人権尊重推進審議委員会の

答申に応じた人権教育推進施策に関する協議、人権教育推進に係る連絡、協調を行うということで任期は1年ということになっています。教育委員会が委嘱ということ。このメンバーの委嘱ということで、この方々を委嘱ということでもよろしくお願ひいたします。提案理由につきましては飯田市人権教育推進協議会規則第4条第1項の規定により、上記の者を飯田市人権教育推進協議会委員に委嘱したく提案するというので、任期は第6条の規定により平成30年4月1日から平成31年3月31日までということ、以上よろしくお願ひいたします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。議案第25号に関しての説明がございましたが、ご質問ご意見等ありますでしょうか。

小林教育長職務代理者お願ひします。

◇小林正佳教育長職務代理者

このメンバーの方たちについて異存はございません。人権教育って非常に大事なもので、ちょっと自分の理解を深めるために質問させていただきたいのですが、昨年度この人権教育推進協議会で具体的にこんなことをしたということ、何か例があれば、教えていただけたらと思います。

○代田昭久教育長

はい、北澤生涯学習・スポーツ課長お願ひします。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

実は、この飯田市人権尊重推進審議会というものについては市の条例設置の、男女共同参画課が主催する審議会がありまして、その答申に応じてありますけれども、昨年につきましてはいくつかの研修会がありましたので、そちらのほうにこのメンバーを呼び掛けて参加をしたということ、あります。そのような活動を実践的な活動をしたということ、あります。

○代田昭久教育長

ありがとうございました。他にありますか。

それでは飯田市人権教育推進協議会委員の委嘱については承認ということでもよろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。

それでは、議案第26号飯田市わが家の結いタイム推進協議会委員の委嘱についてお願ひします。

北澤生涯学習・スポーツ課長お願ひします。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

それでは、議案第26号飯田市わが家の結いタイム推進協議会委員の委嘱についてということ、飯田市わが家の結いタイム推進協議会設置要綱第4条第2項の規定により、下記の者を飯田市わが家の結いタイム推進協議会委員に委嘱ということで、こちらにつきましては飯田市における家庭教育事業であるわが家の結いタイムの普及、啓発並びに学校、PTA、公民館等の関係機関及び関係団体

との連携、協力による家庭教育を支援しあう取組みについて協議するということで、任期は1年、教育委員会が委嘱ということになっています。記載の方々を委嘱したいということです。提案理由につきましても飯田市わが家の結いタイム推進協議会設置要項第4条第2項の規定により上記の者を委員に委嘱したく提案するというので、任期については同要綱第5条の規定により平成30年4月1日より平成31年3月31日までということで、以上審議のほうよろしくをお願いします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。今の説明に関して何かご質問ご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、承認ということでよろしくお願ひいたします。

続きまして、議案第27号飯田市美術博物館協議会委員の任命についてお願いします。

池戸美術博物館副館長お願いします。

◎池戸通徳美術博物館副館長

議案第27号飯田市美術博物館協議会委員の任命についてご説明をいたします。任期満了に伴い、飯田市美術博物館条例第14条第1項の規定により、ここに掲げます10名の者を美術博物館協議委員として任命したく提案するものでございます。任期は2年でございまして、2018年4月1日から2020年3月31日までということでございます。なお10名のうち2名が新任ということでございます。以上、よろしくお願ひいたします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。いまの説明にご意見ご質問等ありますでしょうか。

(「結構です。」という者あり。)

○代田昭久教育長

それでは飯田市美術博物館協議会委員の任命についてはご承認ということでありがとうございました。

続きまして、議案第28号県教委と市教委相互の任免及び人事等に関する了解事項を取り交わすことについてお願いします。

北原学校教育課副参事お願いします。

◎北原康彦学校教育課副参事

議案第28号県教委と市教委相互の任免及び人事等に関する了解事項を取り交わすことについてでございます。これは例年県教育委員会と飯田市教育委員会においてこの時期に取り交わしているものでございまして、昨年に引き継ぎまして了解事項、あとで説明いたしますが、了解事項を取り交わしたいというものでございます。この了解事項の趣旨につきましては一番最初のページにもありますが、県教育委員会と市教育委員会が全権的な視野に立って教育養成の適正かつ円滑な運営を

図ることを目的にしております、その内容につきましては市町村立学校職員給与負担法第1条に規定する教職員の任免その他の進退等に関するものということでその了解事項ということで基づきながら別紙の、さらに別紙がございまして、その覚書を取り交わすというものでございます。昨年の職務代理の説明を引用させていただきながら、その覚書について説明をさせていただきますけれど、この別紙の覚書のところの(4)の教員というところをご覧くださいと、アのところですね、教員の人事については、これを校長に立案させることが望ましいとありますが、これは他県の場合ですね義務の学校、小中学校とかありますが、その教員の人事は教育事務所が担当して異動させるということでもあります。ただし、この長野県の場合につきましては、ここにありますように教員の人事については、これは校長に立案させることが望ましいという文を入れまして、校長会の中で人事を担当させていくというふうなことが例年行われているということでございます。本来、県教委、教育事務所ということになるわけですが、ここがやらなければいけないところを校長会にゆだねてやっているというそんなことでございます。このことについて、それをこういうことでやらせたいをお願いしますということ覚書として取り交わしたいというものでございます。そんな説明でよろしいでしょうか。簡単ではございますが、説明は以上です。よろしくお願いいたします。

○代田昭久教育長

はい、議案第28号に関して説明がございましたが、何かご質問ご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは承認ということでよろしくお願いいたします。

続きまして、議案第29号平成30年度飯田市就学援助費支給対象者の認定についてお願いします。北原学校教育課副参事お願いします。

◎北原康彦学校教育課副参事

議案第29号でございます。平成30年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定でございます。認定対象者は別冊でご用意いたしましたとおりでございます。それぞれ記載いたしました認定要件にて認定をいただけますようご提案を申し上げます。よろしくお願いいたします。

○代田昭久教育長

はい、いま第29号に関して説明ございましたが、ご質問等意見ありませんでしょうか。

はい、それでは承認ということでよろしくお願いいたします。

議案第30号飯田市スポーツ推進審議委員の委嘱についてお願いします。

北澤生涯学習・スポーツ課長お願いします。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

はい、議案第30号飯田市スポーツ推進審議委員の委嘱について、飯田市スポーツ推進審議会条例第3条の規定により、下記の者を飯田市スポーツ推進審議委員に委嘱するということです。この飯田市スポーツ推進審議委員につきましては、2年任期ということで2年目になります。今回につき

ましては教頭先生の交代ということで、この方を任期に委嘱したいということでもあります。仕事内容につきましては飯田市スポーツ推進計画やスポーツの推進に関する重要事項を調査するというものであります。提案理由につきましては、飯田市スポーツ推進審議会条例第1条の規定により設置するスポーツ推進審議委員について、同条例第4条の規定により、委員が任期中に交代した場合は後任の者が残期間を担当するとされており、今回の委嘱は委員の任期中交代による後任者への委嘱に係るということで任期は、平成31年3月31日までとします。以上、ご審議の方よろしくお願ひしたいと思います。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。ただいま議案第30号に関する説明がありましたが、ご質問ご意見等ありますでしょうか。

(「結構です。」という者あり。)

○代田昭久教育長

はい、それでは承認ということでよろしくお願ひいたします。
以上で議案審議を終了いたします。

△日程第7 協議事項

○代田昭久教育長

続きまして、日程第7協議事項。今月の協議事項はございません。

△日程第8 陳情審議

○代田昭久教育長

日程第8陳情審議。今月の陳情審議はございません。

△日程第9 その他

○代田昭久教育長

日程第9その他(1)教育委員報告事項。教育委員の皆さんのほうから報告事項あればお願ひいたします。

小澤教育委員お願ひします。

◇小澤由美子教育委員

報告事項というよりは困っていることがあるんですけども、先日6月1日の日に川路小学校のほうに主幹指導主事の先生が見えたときに一緒に行かせていただいたんですけども、最初、校長先生と主幹指導主事の先生が面談しているときに、飯田市の教育委員さんは学校内の施設点検をしてきてくださいと言われて、教頭先生と一緒に回ったんですね、色々なところを教頭先生からここがこうで困っていてねという話を聞かされたんですけど、私はそれをどこに報告をしたらいいの

かなと、どういうふうにしたらいいのかなと、それを何も報告しないままでは大変お忙しい教頭先生のお時間をただただ無駄に使っただけに過ぎないなと思ったのですけれども、本当に困ってらっしゃることが多々あって、先ほども教育長さんからお話がありましたように飯田市の学校は本当に築40年以上のところが多くて、直すところが多々あるんですけれども、先生たちが教育委員会に相談をすると予算がないですとか、順番待ちですとかで済まされていて、見にも来てくれずに電話だけでも無理ですとか言われてしまうことが多いと、せめて見に来てほしいというお話もあったりした中で、私が保護者として思うのは、ここは明らかに毎年けが人が出ていて危険だなというところがあるんですよ。そういうところはやはり優先して直してほしいですし、子どもが先生と毎日通って学習したり、生活する場所ですので、できれば快適に安全に生活できる場所にしていただけるように、予算を回してもらえたらありがたいなと思って、今回の件もそういう紙があれば、そこに書いて提出できる場所があると嬉しいなと思いました。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。それは学校教育課の訪問等では伝えてないというふうな学校の認識なのでしょうか。

◇小澤由美子教育委員

わからないのですが、とにかく校内点検してきてくださいと言われて、昨年ですね、校内点検していた主幹指導主事の先生たちみたいにこれは危険ですねとか、じゃあ私も一生懸命先生になった気分でチェックしていきますねとくらいでいたら、いっぱい苦情というかここ直してほしいここ直してほしいといわれてしまって、一生懸命メモしてきたんですけど、これはどこにどう報告したらいいんだろうと思って、その時間が必要なのか、それとも。そもそもその時間が必要ないのかもしれないですし、でもそういう決まりになっていますので見てきてくださいと言われて、教育長さんは、いかれなかったですか。私だもんで。

○代田昭久教育長

まあ、私の時は施設のほうにはいかなかったのですが、ありませんでしたが、いま、論点出そうかなと思ったのが。

◎高坂徹学校教育専門幹

教育長いいですか。

○代田昭久教育長

はい。

◎高坂徹学校教育専門幹

ご説明いたします。施設点検に関わりましては、今年から方法が変わりまして、昨年度までは教育委員さんが秋ごろ各学校を訪問されるんですが、その時に事務局の職員が帯同してその時に話を

伺うように昨年度はなっていました。で、今年度からは私と北澤統轄が要録の指導簿の点検に行っているんですが、その時に事務局の職員が帯同して、施設点検をすることになっております。すでに川路小学校は終わっております、その時に事務局の職員が点検をして要望を聞くというシステムになっておまして、教育委員さんが県の主幹指導主事と一緒に行く場合には主幹指導主事と同じ行動をとっていただくということで、というふうに学校に伝えてございますので、また確認をしたいと思いますが、それは川路小学校のほうの誤認かと思っておりますので、申し訳ございませんでした。

○代田昭久教育長

まずは、主幹指導主事の帯同の中で施設はなかったということはどこかでミスがあったということですね。

◇小澤由美子教育委員

はい、何か行かれたら学校側もですけど、その時に、曾我先生の家にご不幸があったので、高山先生が見えたのですが、二人そろって、この時はいくんですよと話されたので、じゃあ、私行ってきますという感じですけど。

○代田昭久教育長

はい、小林教育長職務代理人をお願いします。

◇小林正佳教育長職務代理人

高山所長と話をしていないですけど、曾我主幹指導主事とは飯田市の教育委員は校長先生以下いろんな方との面談もありますので、その時は、教育委員は立ち会うけれど問題ないですかといったら問題ありませんという話はさせてもらっているんで、本来だったら一緒に教育委員も参加させてもらっていい話だし、そして、本来ならば学校の管理運営、それから人事のことも含めて、私どもが責任を持っているところなので、それで所長や主幹には学校と飯田市の教育委員会がぜひ来てください、指導してくださいと頼んで、来てもらっているということなので、立ち会わなくちゃいけない話かなと思います。教育委員の私どもに聞かれてまずいような話はないはずだと思うんです。それから、その「行ってきてください」と言ったのは校長が言ったのか、それとも所長が言ったのですか。

◇小澤由美子教育委員

川路小学校の時は、まず一番最初に日程説明があった後に校長先生と主幹指導主事の先生の面談があって、校長先生と主幹指導主事の面談が2回あったんです。最初の時に行ってきてくださいと言われて、そのあとのいろんな先生たちとの面談のときは立ち合わせていただいたのですが、最初の時は施設点検ですよみたいな感じで、お二人そろっておっしゃられたので、ああそうだったんだといって私見てくるんですねって言っていったんです。

◇小林正佳教育長職務代理者

私ども教育委員の中で事務局の方で点検してもらっていても、そのあと要望というのは出る場合もあると思うのですよね。そしたらどうですか、課長さんか教育長さんのところへメモを渡していただいたり、電話で話していただいたりすればいいんじゃないかと思います。

◇小澤由美子教育委員

そうなんですね。すみませんちょっともわかってなくて。

◇小林正佳教育長職務代理者

と思いますがどうですか、教育委員の皆さん。

○代田昭久教育長

はい、北原学校教育課副参事お願いします。

◎北原康彦学校教育課副参事

いま、職務代理者がお話しいただいたとおり、当然、当然というのはいけないのですが、教育委員会も学校訪問する際それこそ回っていますし、施設担当者もまあ呼ばればいけないというわけじゃなくて、やっぱり緊急性のあるものというのは現場を見てそれで判断している、そういうことを繰り返していますけど、たまたまその時に言えなかった部分が当然あるとは思いますが、全部言っていただければまたダブリ、ダブリっていうのも変ですけど、重なっている部分をチェックしながら、新たなところを色々出しながら対応したいと思います。

◇小澤由美子委員

すみません。冗談だとは思いますがけれども、直るまで小澤さんに言いますからねとか言われてしまつて。ええ、どうしようって。

◇伊藤昇教育委員

いいですか。

○代田昭久教育長

伊藤教育委員お願いします。

◇伊藤昇教育委員

再度確認しますが、私月曜日にさっそく行ってくるんですけど。校長はじめすべての職員面談に主幹指導主事と一緒に同席していいということですよ。わかりました。

○代田昭久教育長

小澤教育委員がご指摘された部分というのは大変大事な事かなというふうに思います。私ども

としても学校の要望、正に言われた安心安全のことは徹底したいと思っているので、なにも学校との距離を作ってですね、したいなというスタンスではないので、むしろそれが誤解されて伝わっているとしたら本意ではありません。課長も事務局も呼ばれたら行って本当に対応して、むしろ 28 校に対応しているこの現状に関しては大変だなという事務局側のこともありますので、対応はすごく怠っているという認識はないわけですが、それでも危険な箇所があれば随時報告をしていただいで迅速に対応していきたいというのは、そのスタンスは変えませんので、また何かあったらご報告いただければと思います。ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。

三浦教育委員お願いします。

◇三浦弥生教育委員

はい、お願いします。週末に和太鼓花の木組の公演を見させてもらいに行ってきました。小澤言教育委員からの紹介を受けていってきました。感想をと思いますが、この公演の概要は委員のほうからお話してもらったほうがいいのかと思います。どういう感じの公演だったかちょっとお願いします。急にすみません。

◇小澤由美子教育委員

はい、前回もお話をさせていただいたのですが、養護学校の寄宿舎のほうであじまっ鼓太鼓という太鼓を経験した子どもたちが卒業をして、世界で働いていく中でまた、和太鼓を楽しんでいる子どもたちの、3年に一回の公演なんですけど、一つやりたいものを一生懸命やろうという目標を立てて、一生懸命ずっと毎週毎週練習を積み重ねてきた公演なんですけれども、本当に大勢の方に来ていただいて、中には感動したと言ってくくださる方もいて、大成功のうちに公演を終えることができました。見に来ていただいた方には大変足を運んでいただいてありがとうございました。その中で視覚支援がすごくしっかりしているので、そういうところも見ていただけたらなと思って、来ていただくのもいいのかなと思っていた点もあったので。ありがとうございました。

◇三浦弥生教育委員

ありがとうございました。それを見させていただきました。いま感動したという意見がありましたという委員からのお話だったのですが、本当に感動しました。本当にしっかり練習をしているところと、ちゃんと流れが組み立てられているところを、本当に熱意が伝わってくるような、心が本当に熱くなるようなそういった公演会であったと思います。私が前のほうで見させてもらっていたのですけれど、周りにご家族の方たちが何グループもいらっしやって、ご家族同士があれ元気だったなんて言う話をされる中で、あれ立派になったんだねって、それでもまだこういうところがあるんだよって、それだって立派じゃないあんな風にできるようになったのねというようなそんなお話を家族同士のお話を聞かせていただきながら、そうやって成長していく過程があるんだなっていうことと、それを共に喜び合える仲間が地域の中にいるんだなっていうそんなところのお話からも本当に胸に熱いものがあったなということで小澤教育委員にいい機会を与えていただいたなとそのように思いました。ありがとうございました。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

◇小林正佳教育長職務代理者

ちょっと付け加えさせてもらって、先ほどの主幹指導主事の対応のことなのですが、あとのところで、全体の前で発言というか教育委員として意見というか感想を言う場はありましたか。

◇小澤由美子教育委員

ないです。

◇小林正佳教育長職務代理者

なかったですか。

◇伊藤昇教育委員

ありますよね。

◇小林正佳教育長職務代理者

最後あるよね。職員との打ち合わせというか、懇談会の後にね、求められるよね。

◇小澤由美子教育委員

今年はなかったです。

◇小林正佳教育長職務代理者

今年はなかったのですね。学校によっても違うけど、それでは、今年はまた適時やってもらって、ことによると、前回、飯田市の教育委員会の先生たちにメッセージを伝える場がないじゃないですかというような話があったじゃないですか。そのところで、飯田市の教育委員会から先生方に伝えてこようというものを何か持っている必要があるかなという気がするのですが、今年度のところは制度が変わったばかりなのでどういうふうな対応をするのか私も承知していないので、今年度の反省をもとにして教育委員として学校の先生たちにこのことだけは伝えてこようというものを用意することも、今後大事になってくるのかなという気がしてくるんですが。

◇伊藤昇教育委員

いいですか。

○代田昭久教育長

はい、伊藤教育委員お願いします。

◇伊藤昇教育委員

今までの過去に何回か帯同をしたのですけれども、最後、教職員が集まっていたいて、教頭先生が進行して、主幹指導主事のご挨拶があって、ご挨拶というか感想ですね。で、教育委員さんもどうぞ一言ちょっと言ってくださいというのがありました。私も職務代理にどんなことを言っているのでしょうかと聞いて、結いプランの徹底を言うのが良いだろうと、そういうふうに言われていますからと伝えてきました。

◇小林正佳教育長職務代理者

今までそれでよかったのかな、それが大事なと思うのですけれども、今度、制度が変わって時間が短くなってきているので、この時間が。一日に2校くらい入るようになってくるから、ことによると、そういう時間が十分とれないから飯田市教育委員はいいというようなことであるかもしれません。

◇伊藤昇教育委員

月曜日にまた感想を言います。

◇小林正佳教育長職務代理者

はい、お願いします。

◇三浦弥生教育委員

すみません。これは例えば教育委員として、感想なり意見を求められたときに、その時感じた感想は自分の口から言うとして、多分先生方は教育委員会からの何かその教育委員会としてのコメントも求められているような感じがするのですけれども、そんなところを何か一ついただいてあれば自分の感想と共にいま教育委員会ではというようなところも同じ話が全てここで整うかなと思うので、そんなところをいただければ、ありがたいなというところは、前回やってみて思ったところです。

○代田昭久教育長

それは大切な意見なので検討させていただきます。

◇三浦弥生教育委員

ありがとうございます。

◇小林正佳教育長職務代理者

いまのとすれば、結いプランのこととかそれからこの前のここで議論した今年度の重点の中で飯田市教育委員会の振興基本計画か、それに基づいて今年度何やるかっていうあたりで出してくれたじゃないですか。あのあたり中心になってくると思うのですが、あとは三浦さんのお好きなようにやっていただくことかなと。いずれにしても何かこれだけはやってこようというものは持っている

というのではないかなと思います。

◇三浦弥生教育委員

そうですね。それをいただければ、それを織り交ぜて感想をと。

◇小林正佳教育長職務代理者

そうですね。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。それでは教育委員報告事項はよろしいでしょうか。

それでは続きまして、(2)教育次長及び社会教育担当参事報告事項お願いいたします。

三浦教育次長お願いします。

◎三浦伸一教育次長

ちょっとご報告とお詫びでございます。5月の教育委員会の定例会で小林職務代理者から教育委員会の出向辞令について、出向することにより何が変わるのか、法的な根拠はということで、ご質問いただいております。私が答えるのかどうかあれですが、事務局として整理をしなきゃいけないというそういった立場ですが、地方自治法、地方公務員法、教育基本法等含めて少しペーパーで整理をさせていただきたいと思っております。ただ、簡単に申し上げまして、教育委員会は行政委員会ということで言われていまして、行政委員会は知事や市長から独立した行政委員会ということになっていまして、教育委員会のほかには選挙管理委員会、農業委員会、監査委員等がございます。これはこの行政委員会の設置の目的から見ますと、行政の中立性、安定性を確保するといった面で、行政の専門的、技術的な執行を図るための組織ということで、市長から独立して中立、公正な職務を遂行するという目的で設けられております。教育委員会は人格の完成を目指して行われる教育ですから、執行に当たっては個人的な価値、判断や特定の党派的な影響から離れて中立性を確保することが大事になっているということだと思っております。また、首長が変わっても継続性、安定性の確保を図っていくということが大事だと思っております。これらのことを少し整理して、教育委員会の位置づけ、教育委員会と長の職務権限、教育委員会事務局の事務等をまとめて次回の定例会にご報告をさせていただきます。ちょっとあの、今日間に合わなくて誠に申し訳ございませんでした。よろしくお願いいたします。

◇小林正佳教育長職務代理者

ということで、あまり大きな仕事を与えては申し訳ございませんので、法律にこんなふうにあるという状態だけ知れば、それを調べさせていただきますので。すみません。ありがとうございます。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。よろしいですか。

はい、わかりました。

それでは(3)学校教育課報告事項お願いします。

高坂学校教育専門幹をお願いします。

◎高坂徹学校教育専門幹

それでは冊子の中ほど、議案第30号の次のページをお開きください。平成30年度飯田市小中連携・一貫教育の方向についてお願いいたします。先月の定例会でご意見をいただいた提案をもとに修正をいたしましたのでご説明いたします。上から三つ目のラインボックスをご覧ください。30年度の重点課題ですが、まず(1)各中学校区の重点としまして、①子どもの姿で語る授業改善と人間関係づくり→学力・体力の向上と不登校対策の推進。②飯田コミュニティスクールを基盤とする小中連携・一貫教育を上げさせていただきました。具体的な取り組みは一番下の表にありますように、授業改善の窓口からは学力向上・体力向上を、人間関係づくりの窓口では不登校対策を、組織づくりの窓口からは飯田コミュニティスクールの推進を重点としてそれぞれの中学校区で進めてまいりたいと考えております。裏面をご覧ください。推進委員会の重点としまして、①各中学校区の実践事例発表テーマの焦点化による研究協議の充実、②9年間の教育課程の作成・提案と上げさせていただきました。9年間を通したカリキュラム作りは前回いただいたご意見を参考に「外国語活動・英語」と「総合的な学習」に絞らせていただきました。これらのカリキュラムの作成においては事務局からの一方的なものではなく、現場の先生方の教科会や係会であるとか、又は小中合同研修会であるとか、そういった自発的な研究の過程を大切にしたいものにしてまいりたいと考えております。イメージといたしましては、各中学校区で作られているもので、他の中学校区にも広げていきたいなというものを示していきたいと考えております。また推進委員会の日程につきましては資料の通りお願いしたいと思います。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。

続きまして、上村小学校見学会・説明会及び体験入学についてお願いします。

北原学校教育課副参事をお願いします。

◎北原康彦学校教育課副参事

資料 No. 2 ということで、飯田市立上村小学校学校見学会・説明会の開催のチラシをご覧くださいければと思います。7月1日の日、日曜日になりますけれど、午前中になります。小規模特認校今年度から始まりまして、少人数ではありますが、元気に皆さん学んでおりますのでそんなところを見ていただきたいということで、今回この見学会を計画をいたしたいわけでございます。この上村小学校の教育活動に関心のある保護者、また児童の皆さんにぜひ見学会に来ていただきたいということで、この案内を新聞にも発表いたしましたし、チラシ、この裏についておりますけれど、それを関係機関、また、ポスターにしながら所要所に張りながらご案内をしている次第でございます。チラシのほうの裏面を見ていただきますと、見学会の内容等でございます。授業を見ていただきながら、学校の紹介&アトラクション発表、あと学校説明会、そんな内容になっております。もちろんこちらから行かれる皆さんにつきましては、見学用のバスをこちらから出発をさせまして、

お乗りいただくようなそんなところもご用意してしますので、委員の皆様方にも都合が付けば見学会ご参加いただければと思ひまして、ご案内をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。

続きまして、生涯学習・スポーツ課関連報告事項お願ひいたします。

北澤生涯学習・スポーツ課長お願ひします。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

それでは資料 No. 3 をよろしくお願ひします。「飯田・宇宙教育」平成 30 年度の事業及び「宇宙留学サマーキャンプ 2018」の開催についてということで、宇宙留学サマーキャンプにつきましては平成 28 年度より開催していましたが、この事業につきましては宇宙から地球を見る大きな視点でものごとを考えるグローバルな視野を育むことを目的になされている教育です。今年度より裏面を見ていただくと、部局横断的に事業を展開するということになっておりまして、各課、各庁で行われている事業で部局横断的にこういう形で束ねるような形にしまして、その中でいくつかの課と連携しながらということでやっていこうということになりました。それでまた戻っていただいて、飯田宇宙教育と共通展開のためにキャッチフレーズを「ひらけ！宇宙へのとびら」ということで各種広報物、記者会見、それから広報いいだ等にも載せるような形でということで、はじめております。6 月 17 日の事業をスタートとして、今年度については特にスタンプラリー等を企画して、5 回参加してくれた方にはプレゼント交換というような形で考えています。これによって実は宇宙留学サマーキャンプにつきましては今年度については 8 月 12 日から 13 日までということなのですが、内容につきましては、今年度につきましては特に知的好奇心や内発的な動機を引き出すということで主体的に学びながらということで考えておりまして、内容的には特に星空間観測ということで、ペルセウス座流星群の観測会を中心に行うというような形で考えています。対象者につきましては 20 名ということで、参加者を市内小学生 20 名募集ということで夜遅くまで天体観測ということを考えております。会場につきましては後ろのほうにチラシ等ついております。チラシのほう、宇宙留学サマーキャンプのチラシ、ちょっととんでおって申し訳ないですけど、こちらの内容で、美博、あるいは上村を舞台にして実施するというので、宿泊についてはハイランドしらびそということで予定をしております。今年度につきましては 6 月 11 日より募集開始ということで各学校につきましては、6 月 25 日か 26 日に第一とりまとめ、それから 7 月 6 日が締め切りですのでそれがまとまった段階でまた学校のほうから出していただくということで、今年についてはこんな形でポイントを絞って一泊ということで考えておりますので、ご承知おきいただくと同時にご参加希望される方についてぜひ PR をお願ひしたいと思ひますので、よろしくお願ひします。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。

第 64 回風越登山マラソン大会開催について、引き続きお願ひします。

北澤生涯学習・スポーツ課長お願ひします。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

よろしくお願ひします。それでは次のページで第 64 回風越登山マラソン大会開催要項ということで、右のほうに風越山開山 1300 年とありますけれども、というかたちで今年につきましては 64 回迎える当課調べながら一番古い登山マラソンということで、全国で PR していますけれども、今年につきましては昨年までの 10 月の体育の日から 10 月の 28 日ということで日程変更をさせていただきます。これにつきましては中体連や地区の体育行事に重複することを避け、より小中学生の参加者をしやすいということで日程のほう変更させていただいていますのでよろしくお願ひします。特に今年の大会の特徴としましては IC タグということで、去年から機械式、アンテナ方式を導入したことによって、部門を増やすことができ、この会でご説明は省かさせていただきますけれども、基本的には全種目において、一般女子、中学生女子という今までの男子の区分だったのを全て新しくさせていただいて、そういった形でより参加をやすくということで表彰対象を増やすという形で考えております。それからチーム対抗戦ということで昨年より実施したのですが、去年は石灯籠だけだったのですが、今年は虚空蔵山というのを増やして、チーム対抗戦ということにしました。それからウォーキングコースについてはランナーとの接触を避けつつ安全性となると、無理のないコースとなるように計画をさせていただきました。それから主な特徴としては、こちらのほうの 12 月に開催される体育協会主催の駅伝・ロードレース大会と連携し、両大会に参加したチームには記念品を用意しておるということで、いろんな企画についてより参加者を増やすという形で考えております。昨年登山マラソンの部で 334 名という多くの参加者があったと思うのですがこれは過去 20 年間で最高だったのですが、ことしはさらにそれを上回る形で、一応登山マラソンの部自体を 400 名を参加を目標にということで盛り上げていきたいというふうに思います。また、ことしにつきましては風越山開山 1300 年記念事業ということで、美術博物館との連携事業というのを考えておりますので、またぜひ参加したいということで来られる方々はぜひ PR をさせていただいて、ご承知おきと同時にご協力の方お願ひしたいと思ひます。以上とさせていただきます。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。

◎馬場保之文化財担当課長

はい、教育長。

○代田昭久教育長

はい、馬場文化財担当課長お願ひします。

◎馬場保之文化財担当課長

すみません。この昨年度の 12 月それから 3 月にご説明をさせていただきました、史跡恒川官衙遺跡の整備基本計画につきまして、お手元のほうに配りをさせていただきました。現在薬師垣外のほうで発掘調査等進めておりますけれども、また、見学会を主催してまいりたいと思ひますので、ご

案内のほうをさせていただければと思いますし、また、今年度恒川清水につきまして調査にかかってまいりたいと思っておりますので、また、ご指導のほどよろしく願いいたします。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。

続きまして、文化会館関係報告事項をお願いします。すみません大変失礼いたしました。公民館関係報告事項をお願いします。

秦野市公民館副館長をお願いします。

◎秦野高彦市公民館副館長

本日は資料ございませんけれども、情報提供ということでお願いをしたいと思います。去る6月13日参議院本会議におきまして、民法が改正されまして、成人が18歳ということになるということになりました。適用されるのは2022年4月1日で、平成で言いますと34年ということになります。ちょっと私どものほうもまだ完全にいろいろ情報収集ができておりませんが、新聞報道によりますと、成人式の関係につきましては18歳の時に受験時期に重なるということで、関係省庁で協議をするというようなことが新聞報道ではされております。また公民館非常に大事にしている事業の一つでありますので、今後色々情報収集等をして注視していきたいと思っております。よろしくをお願いします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。

続きまして、文化会館関係報告事項をお願いします。

宮沢文化会館館長をお願いします。

◎宮沢正隆飯田市文化会館長

資料No. 5をご覧ください。人形劇のまちづくりの最近の取組みでございます。5月26日にはライトダウンのイベントに合わせまして、今田人形による三番叟の扱いのワークショップと、ろうそく公演を、りんご並木周辺で行っております。また6月2日にはワークショップ付き人形劇公演ということで、人形劇に取り組んでいる人たちをターゲットといたしまして、「三ひきのこぶた」の上演とNPO法人いいだ人形センター高松和子さんの取組みに対する心構え等の講演をしていただいております。それから人形センターの講座の等につきましてはそこに記載のとおり4つの講座あるいは相談所を設けまして、人形劇の取組みの支援を行っていくものでございます。伝統人形劇の関係につきましては、ことしは昨年に引き続き箕輪町の方で伊那谷4座の当番してござっております。合同研修等行っております。また、次のページのエのところでございますけれども、9月1日土曜日に伊那谷4座によります、中学生の交流イベントである中学生サミットが予定されております。ことしは高陵中学校が当番ということでござりますので、あと教育長に挨拶等お願いすることになるかと思っております。それからいいだ人形劇フェスタの関係で先ほど説明したこと以外であります。6月10日から4作品につきまして、座席指定のもの先行発売を行っております。それから

6月24日からワッペンと先ほどご説明をいたしました有料公演のチケットの発売を開始いたします。そのほかは先ほど説明したとおりでございます。よろしくお願いいたします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。

続いて、図書館関係報告事項お願いいたします。

櫻井社会教育担当参事お願いします。

◎櫻井毅社会担当参事

それでは資料 No. 6 をお願いします。ポイントのみでございますが、報告事項といたしましては特に(2)図書館探検ツアーということで毎年この時期に行っておりますが、親子、保護者の皆さんに23人が参加していただいて3階の普段は入れない書庫等も含めて探検をしたというところで大変有意義だったなというふうに思っております。それから、(4)ふるさと講座ということでことしは県歌「信濃の国」が制定50周年ということで講座を開いたところ、50人余の皆さんに参加いただいたということで、信濃の国を最初と終わりにそれぞれ6番まで歌いながら歌詞の意味を含めて講義をいただいてなるほどという機会だということでございます。それから(5)に図書館協会下伊那支部研修会とあります。公立図書館の職員と学校図書館の司書の皆さんが合同で研修会をやったというのはことし初めてでございます。情報交換ということでも大変有意義な機会であり、これから子ども図書館の取り扱い等もっと活用について充実計っていくということが確認されたということでございます。そのほか今後の予定等記載がございます。この資料の後ろのほうにはカラー刷りでチラシをつけてございますので、またご確認いただければと思います。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。

続きまして、美術博物館関係報告事項お願いします。

池戸美術博物館副館長お願いします。

◎池戸通徳美術博物館副館長

資料はございません。口頭での説明になります。毎年恒例となりました美博まつりの予告からです。7月28日土曜日、29日の日曜日という予定をしております。6月15日の広報いいだにおきまして、現在ボランティアスタッフの募集をかけました。徐々に進めてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。

続きまして、歴史研究所関係報告事項お願いいたします。

小椋歴史研究所副所長お願いします。

◎小椋貴彦歴史研究所副所長

それでは資料 No. 7 をご覧いただきたいと思います。5月に行われました、飯田アカデミア第83講座の概要とまとめでございます。細かいところはまたお目を通しいただきたいと思いますが、大阪市立大学教授の佐賀朝さんと申しますが、朝さんをお招きしまして、遊廓社会史研究の射程というテーマで4講座お話をいただきました。その枠の中にかいつまんで書いてはございますけども、国や軍部そういった公権力とのかかわり含めて、明治から昭和にかけての遊廓に関わる話をさせていただきました。どちらかという表というよりは裏といいますか、暗部というかそういった歴史を突く、そういったテーマでした。それから資料 No. 7 の右側のページにつきましては4月から5月にかけて行いました、それぞれのゼミナール、ワークショップの内容をかいつまんで記載してございます。それから別添で歴研ニュース第94号を添付させていただきましたので、今後の研究集会のご案内もございまして、また参考にしていただければなお伝えであります。説明は以上であります。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。

学校教育課から歴史研究所まで報告事項続きましたが、今までのところで質問ご意見等あればお願いいたします。

◇小林正佳教育長職務代理者

それじゃ、よろしいでしょうか。

○代田昭久教育長

小林教育長職務代理者お願いします。

◇小林正佳教育長職務代理者

小中連携・一貫教育の方向について質問をしたいと思います。協議の時間でやっていただけるかなと思っていたのですが、協議ではないと思いますが、何点か質問させていただきたいのですが、一つは先ほどの会議録で、前回の会議録のところ、三浦教育委員さんから各中学校区の取組みに差が生じているというんだけど、そんな議論が今まであったのかという質問がありました。やはりこの「差」というところが非常に違和感を感じる。そして、今まで、私が推進委員会に出させていただいた中で、差が出ていることが課題になったことはなかったかなと思います。それで、そういうことを踏まえてですね、最初のところの二つ目の成果と課題のところ、黒丸のところ、成果と課題の上から1の29年度重点の二つ目の四角の囲いの深耕期4年目を迎えというところの「取組みに差」というのがありと違和感を感じるので、例えば「違い」とか何か別の言葉にさせていただきたい。

二つ目ですけれども、次の小中連携・一貫教育の三つに分かれていくところがあります。三つに指標が三つに分かれています。この中に教頭会調査研究プロジェクトというものがあるのが何回か出てきます。それから先ほどの教育長の報告事項にもありましたように、議会の中にも教頭会プロジェクト

という言葉が使われていました。第1回の市の教頭会の折に、教頭会長さんが教頭会プロジェクトの趣旨について最後にまとめたときに教頭会プロジェクトの趣旨を、教頭会長さんが言われたところで教育長さんに「これでいいのか」ということを確認させていただきました。それで教育長さんも「その通りだ」と言ってくれたんです。趣旨からすると教頭会プロジェクトというのは、教頭先生がそれぞれの当面する課題について自主的に研究をして自分たちの取組を交流するという場であって、あの成果を教育委員会の施策に反映するために組織しているものではないということをおそこで確認できたかなと思います。ちょっともうちょっと踏み込んで言います、調査研究の成果を、飯田市教委が施策に取り入れていくというのは勝手ですが、それを目的に、つまり飯田市の教育委員会の施策に反映するために教頭先生方に委嘱するというふうなものではないということです。そのようなことからすると、あまりにも教頭会プロジェクトというものを重要視し過ぎているのではないかなと思います。あくまでも私が申しあげたような形で、教頭先生方が自主的に研究するものの成果をここで反映するんだというくらいの位置づけならいいんですけども、そうでないと誤解を生じるのではないかと懸念をしております。

もう一つのことですが、コミュニティスクールのところを見ていただきたいのですが、コミュニティスクールの組織の構築のところ「各CSの取組を点検する」とあるんですね。点検するというのは小中連携・一貫教育の推進委員会が点検するというふうなことなのか、教育委員会が点検するということなのか、この点検する主体はどこのことをこれは書いているのか、教えていただきたい。点検する主体は誰なのか。

○代田昭久教育長

はい、高坂学校教育専門幹をお願いします。

◎高坂徹学校教育専門幹

はい、お願いいたします。三点ご指摘いただきました。まず一点目の差という言葉ですが、少しあまり良い言葉でないとかネガティブな印象を与えるようなこともあるかもしれませんが、職務代理がおっしゃったような違い、流れるには違いというようなニュアンスで理解していただければと思います。ですので、言葉を入れ替えるときに違いが生じているというふう、あるいは差異という言葉を使わせていただいて、違いという言葉そのまま使うとじゃあ違いって何だということかもしれないので、差異というような言葉あたりが適当だなということでした。

二つ目のプロジェクトのところではありますが、職務代理がおっしゃるようにプロジェクトの位置づけは教頭の自主的な研究機関というところは重々承知してございます。ここに取り上げたところの意図のところにつきましては、プロジェクトでやっている検討、研究を支援して、支援する中で結果的には小中連携・一貫教育が進むときにうまく流れていけばいいかなと、そんなような意味でございまして、決してプロジェクトを利用して施策をしていくとそういうようなところではございませんのでお願いします。

それから三つ目の点検するという活動の主体はどこかというご質問ですが、点検ということがちょっとふさわしいかどうかということになってくるわけですが、中身的にはコミュニティスクールが進んでいくように事務局として支援をしていきたいなというような意味合いでありますので、こ

とは体験がいいかどうかというのはちょっと日程を見て考えています。主体はどこかということになりますが、まあ事務局になるので、教育委員会事務局ということかなということだと思っておりますが。

◇小林正佳教育長職務代理者

はい。

○代田昭久教育長

はい、小林教育長職務代理者をお願いします。

◇小林正佳教育長職務代理者

わかりました。差異か違いかそのあたりはまた言葉を選んでいただいて構わないのですが、三浦教育委員さんをご指摘されている差というのはやっぱりちょっと違和感を感じるということで私も同感ですので、ちょっとそのあたりの差ということ意識して使っていただけたらと思います。

二つ目に申し上げたプロジェクトのことは了承していただければいいと思います。

三つ目のやはり点検というのは強すぎるなあというふうに思います。今の支援とか、又は、推進するとかにしないと、ちょっと上から目線的な教育委員会に受け取られかねないかなと思います。その中で、このコミュニティスクールは去年発足して正式に動き出した中で、色々な課題がある中で、一番情報を持っているのは、委嘱状を渡すため学校運営協議会に出席してくれている教育長を含めた事務局なのですよね。学校運営協議会がどうなっているかというあたりの報告をまだいただけていないのです。うまく動いているのかどうか。この学校にはこんな課題があるというようなことは出していただく必要があるのではないかなと思います、それをもとに支援していくのが教育委員会であり事務局の立場ではないかなと。この文書を見ると、うまくいっているかどうかを点検するぞというふうにとられかねないかなと思います。

それから、後ろの方へめぐっていただいて、推進委員会の重点ということで、1、2考えてくださっております。前回の協議の中で、確か三浦教育次長さんからだったと思うのですが、昨年度の各中学校区の取組みの課題等とのところでご説明がありました。冷静に読んでみると全くその通りだなというふうなことを思っております。その中で、一つ、推進委員会が本当に推進委員会としての機能を十分果たしてきたかどうかということの話がありました。そういう意味です、この推進委員会としてこういうことをやっていくということ、1、2に明確にさせていただいたということは、大事だなというふうに思います。その中で、できたら検討していただきたいのですが、「外国語活動・英語」、「総合的な学習の時間」というところにですね、各校で取り組んできた「外国語活動・英語」、「総合的な学習の時間」各校での、この「外国語活動・英語」「総合的な学習の時間」の取組みを集約し、飯田市小中一貫カリキュラムとしての雛型がいいのか、試案のほうがいいかなという気がするのですが私としては、試案を示し、各校での活用を促す。いずれにしても今年度の推進委員会の重点は「外国語活動・英語」と「総合的な学習の時間」の取組みはカリキュラムとして、推進委員会として集約するんだぞということ成果として作るんだぞということ、これを明確にさせていただかなければいけないと思います。同時にこの二つだけじゃなくて、例えば、旭

ヶ丘中学校区みたいなところは、他の教科の一貫カリキュラムの作成まで、動き出そうとしているんですよ。やっぱりそこは進めていかなくちやいけないことですよ。二つだけじゃなくて、できるところはもっと増やしていく。とくに旭ヶ丘中学校の中学校区では伊賀良小学校は国語の時間をユニットにしている、英語の時間を確保しているじゃないですか。また、山本小学校の方は、ほかの時間つまり英語の時間を1時間確保しているんですよ。中学校区の中では研究しながらやっているところなので、あの研究を取り入れられながら、飯田市の教育委員会として集約して、こういうやり方があるけどもみんなどうだというふうにやはり試案にして示していくというふうなことをしていかなくちはいけないかなと思うのです。つまりもう一回言いますと、各中学校区で二つのことは必ずやるんだと、それ以外に動き出している所は、他の教科も、やって行って欲しいというふうなことを明示していく必要があるかなというふうに思います。それから5のところまで行きます。そういうふうな立場になったときにいくと、今回それぞれの推進委員会の中で何をやるかということをやったり重点化してくれているということは非常に大事なというふうに思います。その中で、2回目の推進試飲会で飯田東中学校区の取組みについて意見交換をします。これ飯田東中学校区の取組についての意見交換をしてしまうと、上の1、2のところの推進していく運営委員としては弱いのです。ここで東中のことを学ぶというだけでは、何について学ぶか明確にしておかないと。飯田東中学校区はふるさと学習ということで、りんご並木を中心にしながら、追手町小学校、浜井場小学校と連携したカリキュラムができています。なので、飯田東中学校の取組みについての意見交換という中で、ここへ「総合的な学習の時間」の各学校との案ができています。ですので、できているところもあるので、ここへ持ってきて、「総合的な学習の時間」についていまここまで進んでいるんだと9中学校区のところを見せあう必要があるんじゃないかなと思います。今まで自分のいいところだけピックアップしているのだけれど、どこの学校がどこまで行っているのかというのが全然よくわかっていないということですよ。それを飯田東中学校の取組みについての意見交換という中で、飯田東中学校区のふるさと学習についてのカリキュラムを示してもらい、持って来られるところは持ってきてもらいながら、うちの中学校区ではここまでやっているということをするべきではないかなと思います。

次のところで言うと「外国語活動・英語」そして、四番目のところでは「外国語活動・英語」「総合的な学習の時間」のところを整ってきたところで、それを、実施案として校長会のほうに提案していくというようなことはいかがかなということをおもいました。

あともう一つこれは専門幹にお願いしたいことかなと思うのですが、議会の答弁のところやいろんなところに出てくるのですが、その9中学校区の中で、家庭学習の手引きができていているところが、かなりできていているのですが、どこができていているということがよくわかっていないんですよ。整理されていないんですよ。それから地域ボランティアの人たちを取り込んで、放課後学習、又は、教室の学習支援をやっている所があるんですが、どこがやっていて、どこがやっていないかわかっていないんです。それから学習規律ということで、2分間前着席だとかなんだとかあるじゃないですか。あれのできていているところとできていないところもあります。外に出す出さないは別として、どこの中学校区でこういうところまでは取組みは進んでいる、このあたりが特徴的な取組みだということとちょっと整理をしていただくといわゆる差なのか違いなのか、そのあたりがよく見えてくるんじゃないかなという気がするんですが。ちょっとそんな点で各中学校区の取組みを整理していただ

くというお願いです。

最後にもう一つですね、各中学校区に学習指導研究会でしたっけ、研修会でしたっけ、開かれちゃったかな。

◎高坂徹学校教育専門幹

昨日、実は集中日でした。

◇小林正佳教育長職務代理者

昨日やっちゃったですか。そこで先生たちがどのような研修をしていて、どのように臨んでいるか、先生たちの研修の場というのも見ておいてもらう必要があると思います。いずれにしても各中学校区の取組みを整理してもらうということ、そんなにこれは難しい作業ではないと思うのですが、そんなことを要望したいと思います。ちょっと色々申し上げました。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。

◎高坂徹学校教育専門幹

いいですか。

○代田昭久教育長

はい、学校教育専門幹をお願いします。

◎高坂徹学校教育専門幹

ご指摘ありがとうございました。それぞれのところ、必要なことを調べていきたいと思います。第二回のところの飯田東中学校のところで「総合的な学習」の持ち方という話いただきました。できるだけそのようにしたいと思いますが、ここで言う飯田東中学校区の取組みの意見交換というのは、この日は合同研修会になっておりまして、結局その、実際に先生方がワイワイ話をしているという現場を見てもらって、その話し合いの在り方がどうかというような意見をいただこうかと思ったのですよ。そういうカリキュラムがどうのこうでなくて、実際こういう話し合いの方法はいいのか、もっとこういう角度付けをしたほうがいいんじゃないかなと、そういうところのご意見をちょっといただきましたかったと思ったので、検討させていただいて、そうはできない可能性もあるのでよろしくをお願いします。

◇小林正佳教育長職務代理者

はい、わかりました。

○代田昭久教育長

はい、三浦教育次長をお願いします。

◎三浦伸一教育次長

5月の定例会で小中連携・一貫教育の進め方と、推進委員会の運営についてということで、これまでまさに協議事項でご意見いただいて、それを受けて今日提案の中で、確かに今日も協議事項としてしっかり時間を取って扱わなければいけなかったなというのは反省をしております。ご意見あった中で、少しご説明していないのは、学校運営協議会の参加です。実は今年度からすべての学校運営協議会に教育委員会が設置をしていますから、学校運営協議会の充実を図るためにも、統一した課題があるのか、学校ごとの課題があるのかということ把握するためには教育委員会事務局、教育長出席の方がいいだろうということで出ております。であと2校、6月下旬と7月上旬ありまして、それが出た段階で少しまとめてどんな意見がされているのかということをもたご報告したいと思います。昨年度は教育長職務代理が公民館長との研修という部分でご出席いただいておりますが、事務局は昨年度はほとんど出ていませんので、今年度からその取組みを行っていかうということでスタートしていますので、また内容についてはご報告していきたいと思います。よろしくお願ひします。

○代田昭久教育長

小林教育長職務代理者をお願いします。

◇小林正佳教育長職務代理者

はい、すみません。学校教育専門幹のお話、三浦教育次長さんからの話をひっくるめて少し先走ったところがあって失礼いたしました。いまの学校運営協議会のところの議論みたいところは三浦教育委員が発表していただく三遠南信教育サミットのところもかなり絡むんじゃないかというふうには私は思っております、そういう意味でちょっと大事に見て、資料を使わせていただくとありがたいなと思ひました。

それから、東中のことなんですが、了解をしましたが、できるだけこの推進委員会の重点ということで掲げていただいておりますので、このことをできるだけ達成できるにはどうしたらいいかという観点で1から5を貫いていただけるといいかなと思ひましたので、事情はよく分かりました。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。いろんな指摘を取り入れながら、また来週校長会もありますのでしっかりと反映させながら伝えていきたいと思ひます。ありがとうございます。

他にはありますでしょうか。

伊藤教育委員をお願いします。

◇伊藤昇教育委員

風越登山マラソンのことについてですけども、中体連の関係で日程をずらしていただいたことなので、この大会の特徴にもありますように急峻な登山道を利用したマラソン大会とあると思うんですけど、まあ全国にマラソン、地形ならいくらでもあるんですけども、まあ特徴的なことも一応

登山道を利用したマラソン、一応マラソンとしてはチームマラソンのようなものでは人数が少なそうなので、そういったものをうまく飯田市民の小中学生を集めるというのがありますけれども、やはり全国でもう少し、集客してみることかそういったことをやっていただきたいなと思います。それに関連して開山 1300 年ということなので、そちらのほうも美博との連携でパネル展と色々やっていかれるようなのですけれども、この 1300 年というのはちょっと、まあ約 1300 年なのか来年 1300 年と入れるのかどうか。

○代田昭久教育長

池戸美術博物館副館長お願いします。

◎池戸通徳美術博物館副館長

ちょっとこの資料持ってきませんでしたが、1300 年ということになります。

◇伊藤昇教育委員

まあ、来年もその開山 1300 年という言葉を使えるのかどうかということです。

○代田昭久教育長

馬場文化財担当課長お願いします。

◎馬場保之文化財担当課長

加賀の白山を開いた泰澄が翌年に風越山を開いたというふうに伝承がありまして、そこから数えて 1300 年ということになります。

◇伊藤昇教育委員

今年が 1300 年ということで、来年は使えないですね。

◎馬場保之文化財担当課長

はい。

◇伊藤昇教育委員

来年は 1301 年ですね。

まあこれもそういう由緒ある歴史ある名前なので、そのところも特に記念事業をやられることと。1300 年の来年度はどうかとしても、ちょっと特徴的なことなんで PR をしっかりやっていただければと思います。その開山のことにしてもマニアの方たくさんいらっしゃると思うので、うまくそのところもしっかりやっていただきたいなと思います。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

よろしいですか。

○代田昭久教育長

はい、北澤生涯学習・スポーツ課長お願いします。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

スポーツ振興係の職員がいまトレイルランとか全国でやっていますので、できるだけ全国でPRをしています。大会で100人前後はそういった外の方が参加いただくというような形です。市民マラソンとか各地でやっていますので、ちょうど9月、10月そういうのをやっていますので、そういった休日とかそういった時とか各市町村と連携しながらPRをやっていきます。また、ご意見をいただきました今年も力を入れていきたいと思っていますので、またPRのほうをしながら、登山マラソンに近いような愛好者とかサークルとかクラブへのPRも大事と思っていますので、案内はがきを送ったりとかそういった形でもやっておりますけれども、また力を入れてやっていきたいと思っています。よろしくをお願いします。

○代田昭久教育長

伊藤教育委員お願いします。

◇伊藤昇教育委員

それに関連しているんですけど、観光協会とか観光課とは全然そういった話は。どうなっているのでしょうか。連携は。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

風越登山マラソンは、観光サイドとも連携しながらということで、ポスターとか、チラシとか、バスの発着所とかそういったところに置かせていただいたりとか、観光協会とかそういったところに置くような形で連携を取っています。やまびこマーチではご案内人といったそういうところで、連携を取ってきたものですが、連携をとれるところはとっていききたいと思います。

◇伊藤昇教育委員

日にちをずらしてやるんで、ぜひ。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

ありがとうございます。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。他にはございますでしょうか。

それでは今後の日程についてお願いします。

滝沢学校教育課長補佐お願いします。

◎滝沢拓洋学校教育課長補佐兼総務係長

会議資料の3ページに今後の日程について主なものを記載しましたのでお願いしたいと思います。三遠南信教育サミットの視察先については今検討の段階でございますけれど、またご意見いただきながら進めてまいりたいと思いますのでお願いします。これからの日程につきましては別冊でお付けしてございますので、ご確認をお願いしたいと思います。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。

△日程第10 閉会

代田昭久教育長が閉会を宣言した。(午後5時5分)